

独 標

西東京市立ひばりが丘中学校

第1学年

第4号

令和5年4月20日発行

中学生になって その1

中学生になった気持ちや意気込みを作文に書きました。全員の文を紹介したいところですが、各クラス代表者2名の文を紹介します。初心を忘れずに学校生活を送れるといいですね。

〈敬称略〉



A組

僕は中学生になって頑張りたいことが三つあります。

第一は、あいさつを心がけることです。あいさつをするとした方の気持ちもよくなり、された方も嬉しくなります。小学校の時もあいさつはしていたけれど、声が小さかったので、これからは明るくはっきりあいさつができるようになりたいです。

第二は、勉強と遊びのメリハリをつけることです。僕はよくダラダラと勉強をしたり、遊んだりしてしまうことがあります。しかし、それだと勉強もあまり集中ができないし、遊ぶ時間も少なくなってしまいます。だから、これからは勉強と遊びにメリハリをつけて要領よくやっていきたいです。

第三は、何事にも挑戦していくことです。前までは何が大事なことがあっても挑戦せずに諦めてしまったことが多かったと思います。しかし、中学校では挑戦してみないとできないこともたくさんあると思うので、これからは難しいことや苦手なことでも諦めずに挑戦していくことを心がけて生活をしていきたいと思います。

中学校では小学校と違って、とても大変なことや難しいこともあると思います。そんなときでも今回の三つのことを忘れずに取り組むことを大切に、この三年間を充実した三年間にしていきたいと思いました。

A組

4月7日入学式の日、私はこれから始まる新しい中学校生活への希望と不安をもちながら、中学校に行きました。小学校より勉強が難しくなるから大丈夫だろうか、部活はとても厳しいのではないかと、たくさんの心配がありました。でも新しいクラスになり、新しい教室で新しい友達や先生と過ごす楽しみや期待もふくらみ、今までとは違う生活が待っていると思うと、とてもわくわくします。先生が言っていた「失敗してもいいからチャレンジしよう。」この言葉が強く私の心に響きました。今までの不安、心配もなくなり、「頑張ろう」という気持ちの方が大きくなりました。そして、私の好きな言葉に「努力は必ず報われる。」という言葉があります。意味は、文字の通り「努力をすれば必ずいつか結果につながる」という意味です。この言葉は、中学生になったばかりの私にぴったりだと思いました。辛いときは、この二つの言葉を思い出して、授業、勉強、友達関係、部活などを頑張り、夢に向かって進んでいけるように努力していきたいです。

B組

ぼくは、中学生になって頑張りたいことが四つあります。

第一は、学習です。全ての学習が小学生より難しくなります。例えば、算数は、中学生になって、数学に変わりました。そして、問題も難しくなります。だから中学校の勉強についていけるように、コツコツ努力していきたいです。

第二は、あいさつです。中学生になって、あいさつは大切だということが小学生の時以上に分かりました。あいさつは、人の心を明るく、豊かにします。だからあいさつは自分から積極的にしていきたいです。

第三は、あきらめない・挑戦することです。出来ないこともたくさんあります。でもそこであきらめてしまったら、何も自分に得られるものはありません。挑戦しないと結果がついてきません。失敗しても、そこから得られることはたくさんあります。だからあきらめずに挑戦することを大切にして、失敗した反省を生かして、出来ることを一つでも増やしていきたいです。

第四は部活動です。部活動では、野球部に入ろうと思っています。野球は団体競技なので、チームワークが大切です。そのために、先生、先輩の言うことを聞き、協力していきたいと思いました。

このように、学習をがんばり、自分からは積極的にあいさつをして、あきらめずに挑戦し、出来ないことでもコツコツと努力をし、協力することを意識して学校生活を送りたいと思いました。また、楽しい、安全な学校生活にしていきたいです。



B組

中学生になって、私は小学生の時では感じる事がなかった「やる気」を感じていた。普段、あまりしなかったあいさつも自らしていたり、知らない友達に自ら声をかけていたりなどと「自ら」という行動にも「やる気」がでていた。中学生になって感じることでできた「やる気」は、たくさんの人に支えられている。例えば、家族からは中学校生活を送るための準備。地域の方々には毎朝のあいさつ。そして、ひばりが丘中学校の先生や上級生、友達からは様々な感情をもらっている。それらに支えられて「これからがんばろう」という「やる気」をもらっているのだ。だから私はこれから、日々の感謝を伝えていきたい。毎日「ありがとう」と伝えるだけでなく、あいさつや自分の成長などの行動にも感謝を表すべきだ。するとこれからもたくさんの人に支えられ、良い中学校生活がおくれるだろう。中学生になって感じた「やる気」は、周りの人への感謝を伝えることで、周りの人はもちろん、自分にもよいこととしてかえってくる。なぜなら、やる気は努力につながり、それを積み重ねることで良い結果を得ることができるからだ。つまり、日々伝える感謝は他人にも自分にもかかわっている。だから、中学生になって感じた「やる気」やこれからの生活で感じた感情を大切にして、中学校生活をおくっていききたい。